

第 34 回（2024 年）全国花のまちづくりコンクール 受賞者決定 ～花の社会性がまちをつくる～

花のまちづくりコンクール推進協議会（会長 野路國夫）は、第 34 回（2024 年）全国花のまちづくりコンクールの各賞受賞者を、全国応募総数 605 件の中より決定しました。

【コンクール概要】

全国花のまちづくりコンクール（提唱：農林水産省及び国土交通省、主催：花のまちづくりコンクール推進協議会）は、1990 年に開催された国際花と緑の博覧会の理念「自然と人間との共生」を継承し、花のまちづくりの発展及び花の社会性の向上を目的に、1991 年より全国各地の優れた花のまちづくり活動を表彰しています。

【対象】

全国の「市町村」「団体」「学校」「個人」「企業」

【特徴「花の社会性」】

花は、人と人、人と社会をつなぐツールです。花が地域社会に及ぼすプラスの影響を「花の社会性」と呼んでいます。花のまちづくりは、地域の環境づくりやコミュニティづくり、人づくりに資する「花の社会性」をまちづくりに活かす活動です。

【花のまちづくりコンクール推進協議会 構成団体】

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

公益財団法人都市緑化機構

一般財団法人日本花普及センター

公益財団法人日本花の会

【受賞者】

別紙の通り。表彰式及び受賞者交流会は、10 月 31 日（木）に法曹会館で開催予定です。

【お問い合わせ先】

コンクール事務局：公益財団法人日本花の会（担当）小山・武藤

〒105-8316 東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 9 階

TEL：03-6849-9821 FAX：03-6849-9822 <https://www.hananokai.or.jp/city/>



第34回（2024年）全国花のまちづくりコンクール受賞者一覧

応募者数 605 件

（市町村部門 2 ）（団体部門 361 ）（学校部門 119 ）（個人部門 103 ）（企業部門 20 ）

大賞 【5件】

大賞 農林水産大臣賞	団体部門	三島市東大場花の会	静岡県三島市
		特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク	愛知県田原市
大賞 国土交通大臣賞	団体部門	南大塚都電沿線協議会	東京都豊島区
	個人部門	佐野 誉志照・恵美子	静岡県浜松市
大賞 文部科学大臣賞	学校部門	五霞町立五霞中学校	茨城県五霞町

優秀賞 【7件】

優秀賞	市町村部門	恵庭市、株式会社ガーデンシティ恵庭	北海道恵庭市
	団体部門	大濠公園ガーデニングクラブ	福岡県福岡市
	学校部門	喜多方市立上三宮小学校	福島県喜多方市
	個人部門	房谷 弘之	兵庫県姫路市
		松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市
	企業部門	NECソリューションイノベータ株式会社	東京都江東区
		株式会社ベースワン	滋賀県彦根市

奨励賞 【10件】

奨励賞	団体部門	秋桜「地域を花でかざろう会」	北海道札幌市
		花クラブ実行委員会（2班）	神奈川県川崎市
		袋井市花の会 高尾町公園シンボル花壇	静岡県袋井市
		川崎地区絆づくり	静岡県牧之原市
		グルッポふじとう地域住民サポーター さくらクラブ	愛知県春日井市
		シーマークス・タテニワ倶楽部	兵庫県神戸市
		ガーデンファイブ	兵庫県伊丹市
	学校部門	みなべ町立高城小学校	和歌山県みなべ町
		浦添市立浦西中学校	沖縄県浦添市
	個人部門	佐々木 裕哲	和歌山県有田川町

入選 【26件】

入選	団体部門	福島県相双日本花の会	福島県南相馬市
		高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会	富山県高岡市
		高松宮竹花と緑の会	静岡県静岡市
		天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト	静岡県浜松市
		伊豆の国市商工会 女性部	静岡県伊豆の国市
		関田西高砂会・関田東高砂会	愛知県春日井市
		如意申長寿会	愛知県春日井市
		名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市
		伊丹市フラワーリーダー同好会8期生	兵庫県伊丹市
		鶉野中町花家族の会	兵庫県加西市
		下里とも子ガーデン	和歌山県那智勝浦町
		花てまりの会	和歌山県那智勝浦町
		横川第二公園園芸クラブ	広島県広島市
		北九州市立小嶺児童館	福岡県北九州市
	学校部門	海南市立巽小学校	和歌山県海南市
	個人部門	鈴木 洋一・民子	福島県南相馬市
		益田 満智子	静岡県吉田町
		増田 豊和	愛知県江南市
		奥川 きみ子	兵庫県西宮市
		尾花 幸雄	兵庫県加西市
		寺尾 康男・桂子	兵庫県朝来市
		荻尾 安正・希美子	兵庫県たつの市
	企業部門	株式会社昭和観光	茨城県鉾田市
		タニザワフーズ株式会社	愛知県岡崎市
		有限会社豆蔵	愛知県岡崎市
		武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園	京都府京都市

特別賞 【8件】

当コンクールにおいて入賞回数が規定回数に達した継続的な活動を特別に称えます
(シルバー賞 入賞回数5回)

特別賞 シルバー賞	団体部門	高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会	富山県高岡市
		伊豆の国市商工会 女性部	静岡県伊豆の国市
		下里とも子ガーデン	和歌山県那智勝浦町
		花てまりの会	和歌山県那智勝浦町
	学校部門	海南市立巽小学校	和歌山県海南市
		みなべ町立高城小学校	和歌山県みなべ町
	個人部門	寺尾 康男・桂子	兵庫県朝来市
		松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市

以上

第 34 回（2024 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞 農林水産大臣賞

【団体部門】三島市東大場花の会（静岡県三島市）

分譲地内で利用されていなかった 1,000 m²の公共用地を、花や緑を通して人々が繋がりが笑顔が溢れる憩いの場にしたいと、2005 年から花壇づくりに取り組んでいます。会員は現在 8 名ですが、植え替え時などは町内から多くの方が活動に参加します。水やり、除草、花の選定、挿し芽による増殖、開花後の球根管理など、丁寧な管理が施されている花壇は、美しい芝生が広がり四季を通じて花々が咲き誇ります。また旬の植物を花束にして来園者にプレゼントする取り組みや、三島市が推進する「ガーデンシティみしま」の活動にも参画するなど、交流も大切にしています。徹底した栽培管理による美しい花壇の維持や、地域に愛される憩いの場の創出などが大変高く評価されました。



大賞 農林水産大臣賞

【団体部門】特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク（愛知県田原市）

露地栽培や施設園芸、畜産など農業産出額が全国トップクラスを誇り、資源循環型・環境保全型農業を推進する田原市で、遊休農地を中心に 2006 年から菜の花を活用した、持続可能な花のまちづくりを展開しています。2024 年 9 月現在、市内 20 か所、計約 4 万 m²に 100 万本の菜の花とヒマワリを植栽し、「エコネットワーク」の名の通り、景観形成、観光振興、資源循環、農地健全化、次代への橋渡しを実現しています。

タネの支給や機械作業の委託、食品や肥料への加工、サポーター制度の導入など、多くの仕組みを築き、田原市の力強いサポートのもと、活動の拡大に努めている点が、農業が盛んな地域での花のまちづくり活動のモデルとして大変高く評価されました。



第 34 回（2024 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞 国土交通大臣賞

【団体部門】南大塚都電沿線協議会（東京都豊島区）

東京さくらトラム（都電荒川線）大塚駅から向原駅までの沿線約 1,500m にバラを植栽し、美化活動とバラを活かしたまちづくりを行っています。

2008 年に沿線の美化活動を目的に会が発足し、100 株のバラを元にバラロードづくりが始まりました。以来発展を続け、現在は 710 種 1,210 株のバラが咲き誇る、都内有数のバラロードになりました。2021 年以降、小中学校 3 校が「バラ見守り隊」として活動に加わったほか JR 大塚駅前広場にも活動拠点が広がるなど、住民・行政・学校・企業など、地域一体が活動に賛同しています。

バラの健全な生育を支える管理作業も適切に行われており、都市部における「都電とバラ」を活かしたまちづくりの取り組みが大変高く評価されました。



大賞 国土交通大臣賞

【個人部門】佐野 誉志照・恵美子（静岡県浜松市）

2004 年の浜名湖花博に自治体職員として携わったことをきっかけに、地域に根差した花のまちづくり活動を志し、2009 年から自邸内 200 m²の花壇を「四季折々の花を楽しむ宿根草主体のオープンガーデン」として通年公開しています。またボランティア活動として、年間約 8,000 苗を種子から育て、学校や福祉施設、花仲間に提供し、花植えやアドバイスを行っています。高い栽培技術のもとに生育された苗は、地域の花のまちづくりに欠かせません。そのほか浜松市の協働センターでは園芸講座の講師を務め、園芸の楽しさを伝えています。

自邸の活動にとどまらず、ご夫妻で花のまちづくりに長年献身的に取り組み、地域の園芸リーダー養成に貢献されている点が、大変高く評価されました。



第 34 回（2024 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞 文部科学大臣賞

【学校部門】五霞町立五霞中学校（茨城県五霞町）

教育目標に「心豊かな生徒」の育成を掲げ、2013 年から生徒会と環境整備委員会を中心に、全校生徒 157 名、教職員、保護者、地域の方が協力して「花いっぱい为学校づくり」に取り組んでいます。

土づくりから播種、育苗、植えつけ、水やり、花殻つみ、施肥、デザイン考案まで生徒が主体的に行い、年間 8,000 苗（内、自家生産苗 6,000 苗）を健全に育てています。苗は正門と通用門の花壇に植栽し、猛暑の中でも生き活きと健全な花々が咲き誇ります。また、余剰苗は五霞町内に配布し喜ばれています。

栽培管理の適切さが際立つ点や、地域社会と交流を広げ協力関係を良好に維持している点が、中学校の取り組みとして大変高く評価されました。

